

公明党千葉市議会議員団

市議会だより

発行日/令和3年1月 発行/公明党千葉市議会議員団
〒260-8722 千葉市中央区千葉港1-1

2021
新年号



公明党千葉市議会議員団「令和3年度予算編成に対する重点要望」を提出!

- 1 市民生活に寄り添った新型コロナウイルス感染症対策への的確な対応。
- 2 税源の涵養^{かんよう}など自主財源の確保、資産経営への取り組みの強化。
- 3 行財政改革への取り組みの強化。
- 4 防災対策の強化。
- 5 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた諸施策の拡充・強化。
- 6 地域共生社会構築の推進。
- 7 安心・安全な市民生活に向けた諸施策の拡充。
- 8 超高齢社会への対応施策の強化。
- 9 健康づくり・医療施策の推進。
- 10 障がい児・者支援施策の推進。
- 11 子ども・子育て支援事業の推進。
- 12 児童生徒の安全対策および教育環境の整備。
- 13 生ごみ減量の実効性ある計画的な取り組みの推進。
- 14 コロナ禍をふまえた地域経済支援策の充実・強化。
- 15 法人の農業参入の促進および農政センターのあり方の検討。
- 16 都市の活性化に向けた取り組みの推進。
- 17 海浜病院の老朽化対策への早急な対応および青葉病院救急医の増員および育成の強化。

千葉の「農」の魅力を発信「千葉ウシノヒロバ」オープン!

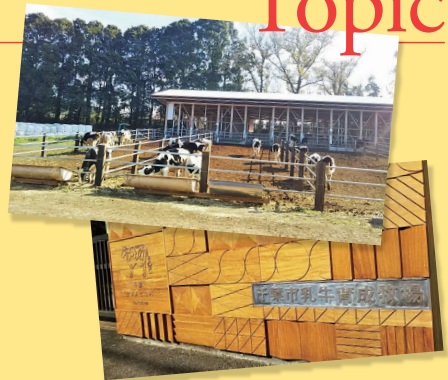


公明党市議団として、本市の課題に即した新たな農業振興施策のあり方を早急に検討すべきと求め、農業をより多くの雇用や付加価値を生み出す成長産業として活かす、アクションプランが策定されました。

なかでも、グリーンエリアにおける「農業とふれ合う場や機会の提供」については、昨年10月末に、若葉区にある乳牛育成牧場跡地にお

いて整備を進めていた観光牧場が、民間事業者(株式会社千葉牧場)によって「千葉ウシノヒロバ」としてオープンしました。

広い草原でのキャンプやバーベキューを楽しむことができるほか、地元野菜のマルシェやお土産、農業体験など千葉の「農」の魅力を体験できます。



Topic

第4回 定例会・公明党市議団の代表質問から

防災対策について

福祉と連携した災害時要配慮者支援を!

2018年の西日本豪雨災害により亡くなられた方々は、災害時に自力では迅速な避難行動をとることが困難な高齢者等の災害時要配慮者で、福祉と防災が連携した避難支援の強化が求められます。

そのようなことから「逃げ遅れゼロ」の実現に向けた平時からの体制づくり、行政と自主防災組織・町内自治会等における地域レベルに応じたきめ細かい対策に力を注ぐべきと考えます。

そこで、本市においては、避難行動要支援者名簿の提供後、地域における支援体制の構築をどのように想定しているのか。併せて、個別支援計画策定に向けては、どのような取り組み、仕組みづくりを考えているのか見解を伺いました。

市長からは「平常時から要配慮者との関わりのある福祉専門職が地域と一体となって個別支援計画の策定に取り組んでいくことは参考となる。今後は、地域に名簿を提供する防災部門と、福祉専門職を所管する福祉部門がより一層連携し、災害時の支援の実効性が確保されるよう、様々な支援者が連携・協力した要配慮者を支える仕組みづくりを検討する」との答弁がありました。



新生児聴覚検査について

全ての新生児の聴覚検査を求めて

新生児の1,000人に1人から2人の割合で先天性の難聴があるとされており、早期発見、早期療養することがとても重要であります。これまで我が会派は、全ての新生児が聴覚検査を受けられるように公費助成の実施を求めてきました。また、産科医療機関に対する聴覚検査機器購入の助成制度や、出産施設に対する何らかのフォローアップが必要であり、当局の見解と取り組みについて伺いました。

副市長から「公費助成制度に向けた取り組みについては、千葉県において、来年度からの県内統一の実施体制による公費負担制度の

開始に向けて調整を進めており、本市においても、県のタイミングに合わせて円滑に実施できるよう準備を進めてまいります。



なお、検査機器を所有していない助産院に対しては、後方支援医療機関との連携の中で、円滑に実施することを依頼し、全ての子が漏れることなく検査を受けることが出来るように努めてまいります」との答弁がありました。

道路のり面・擁壁について

計画的・予防保全型で維持管理の強化を

本市では、区域内にのり面・擁壁が968箇所ありますが、昨年台風時に盛土のり面が崩壊し、市民の方の家屋に大きな被害が発生しました。今後、被害を防ぐためには、適切な管理とともに予防保全型の維持管理を取り入れるべきと求めました。

副市長から、「本市管理道路においては、360箇所を重点的かつ計画的に維持管理すべき施設として位置づけ、現在341箇所の点検が完了し、9割以上が概ね健全な状態ですが、施設本体の点検だけでなく、周辺の排水施設などを含め、健全な状態で保つこと

が必要である認識しております。特に鉄筋コンクリート擁壁については、鉄筋の劣化が進行する前に対策を行う予防保全型の管理により、長寿命化を図っていきます。さらに、蓄積した点検、措置の実績について分析を行うほか、5年に一度を目途とする計画の見直しに的確に反映することで、道路交通安全・信頼性を将来にわたり確保してまいります」との答弁がありました。



保育所施設の計画的な老朽化対策を!

保育所のトイレ設備について

本市の保育所施設の老朽化対策を求める声が寄せられております。

特に衛生面では、トイレや沐浴室のドライ化、便座の洋式化などが求められていることやコロナ禍での職員への負担軽減の観点からも早急な対策が必要と考えます。

そこで、現在策定中の計画の維持保全項目に、トイレの維持保全計画を位置付



け、ドライ化や洋式化に早急に取り組むべきと要望しました。

副市長からは「保育所においては、学校施設に比べ、夏休みなどの長期休業期間がないことから、維持保全など、大規模改修工事の実施に大きな制約を受けますが、現在策定中の『公立保育所の施設管理に関する基本方針』で定める建て替えまでの期間を考慮しつつ、できるだけ保育に与える影響が少なくなるよう施工を工夫し、予算枠を確保しながら計画的に改修を進めてまいります」と答弁がありました。



市政に関するご意見やご要望をお寄せください!